

無石綿

支社限定取扱い製品

※取扱い支社は裏面参照

NSハイパウダー

作業性改良用混和材

NSハイパウダーは、プレミックスモルタルや現場調合モルタルの保水性の向上とひび割れ防止、作業性の改良を目的として開発された作業性改良用混和材です。石綿と異なる極めて安全性の高い混和材です。プレミックスモルタルや現場調合モルタルの施工時に混入し、品質の向上と作業性の大幅改善にお役立てください。

特長

- 発ガン性物質であるクリソタイルを含まない無石綿です。安全性が高く、安心して使用できます。
- こてすべり・こて伸びがよいため、作業効率が向上しスピーディーに仕上げができます。
- プレミックスモルタルや現場調合モルタルの保水性を向上し、ひび割れの発生を抑制します。

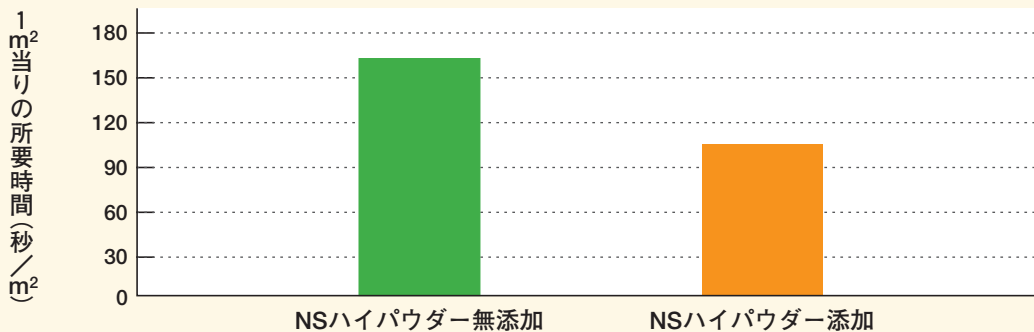
標準仕様

荷姿	標準調合 (NSハイパウダーの使用量)	
20kg/袋	現場調合モルタル混入時	セメント;25kg/袋に対して 0.7~1kg
	プレミックスモルタル混入時 (NSゼロヨンシリーズ等)	プレミックスモルタル;25kg/袋に対して 0.5~0.7kg

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

作業性改良データ

作業効率の比較



NSハイパウダーをモルタルに混入すると、混練物は適度の柔らかさと粘りを生じて、こて伸びが一段と向上し、作業性の改良と工期の短縮に役立ちます。

施工法

下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。

下地処理 (吸水調整材塗布)

乾燥後、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。
*ブロック等下地の動きが想定される場合は、適切なひび割れ抑制措置が必要です。

練混ぜ

プレミックスモルタルや現場調合モルタルに対し、標準仕様の「標準調合」の割合でNSハイパウダーを混入し、モルタルミキサーやハンドミキサー等で空練り後、各種材料のカタログ等の標準仕様に従い、ダマが残らないように十分に練り混ぜてください。
*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

塗付け

NSハイパウダーを混入したプレミックスモルタルや現場調合モルタルは、各種材料のカタログ等の標準仕様に従って、塗付けをおこなってください。
*塗付けは、こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。
*仕上材の種類によって、金こて押え、木こて押え等をおこなってください。

養生

NSハイパウダーを混入したプレミックスモルタルや現場調合モルタルの養生は、各種材料のカタログ等の養生条件に従いおこなってください。
*通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。
また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。
*強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。
*初期の雨掛り等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1002025
分散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、6ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。

 **日本化成株式会社**
製品問合わせダイヤル  **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。

[取扱い支社]

関東支社(札幌・仙台・東京・横浜)